

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防活動用資機材整備事業	事業番号	11801

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	消防用ホース及び空気呼吸器用高圧空気容器(ポンペ)を計画的に整備することにより、消防力の充実強化が図られ、市民が安全・安心に生活できる環境整備が進められるとともに、複雑多様化する災害に対応できる体制づくりを推進する。
成果	消防用ホースを差し込み式に、並びに呼吸器用ポンペを従来型から長時間の活動が可能なものへ移行し整備されることにより、消火戦術の対応の幅が広がり、大災害発生時の応援や受援の際にも円滑な活動が図られ消防体制が強化される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3	消防用備品(消防用ホース、空気呼吸器用高圧空気容器(ポンペ))整備						
	R4	消防用備品(消防用ホース、空気呼吸器用高圧空気容器(ポンペ))整備						
	R5	消防用備品(消防用ホース、空気呼吸器用高圧空気容器(ポンペ))整備						
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			5,101	3,723	5,298	14,122	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			5,101	3,723	5,298	14,122
		一般財源						
	人員(人工)			0.01	0.01	0.01	0.03	
職員費(人員×7,704千円)			77	77	77	231		
総事業費			5,178	3,800	5,375	14,353		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	差し込み式ホースへの移行率	34.4%	-	63.6%
	300キロ (29.4MPa) ポンベへの移行率	0.0%	-	50.7%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	本事業の推進により、装備を充実し装備を計画的に更新することで、普段の消火活動だけでなく、災害時においても活動が円滑になり、市民が安全・安心に生活できる環境の構築が期待される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>市民生活の安全・安心を守ることへの期待は大きく、迅速な消火活動や災害時の対応が的確に行うことができる体制の整備が求められている。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>市が消防責任を有しているため。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>消火戦術の拡充に伴い必要なホースや、長時間活動することが可能な空気呼吸器用ポンベの整備、並びに耐用年数が経過する資機材を順次更新し、有事への備えを進める必要がある。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>本事業を推進し、計画的に装備を整備することにより、消防体制の強化と安定性が図られる。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>消防力の充実強化により、市民が安全・安心に生活できる環境整備が図られるため公平性は高い。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>本事業を推進することで、災害時における対応力の強化が図られる。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【計画どおり実施】</p> <p>消防用ホース及び空気呼吸器用高圧空気容器の整備に当たっては、耐用年数が経過する資機材を計画的に更新され、市民が安全・安心に生活できるよう消防体制整備に努められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>当該事業を計画的に推進し、消防体制の整備を進め、市民が安全・安心に生活できるよう有事への対応力強化に努める。</p>

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防緊急通信指令施設更新事業	事業番号	12606

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	本事業は、平成23年度に整備し、平成23年10月から運用を開始している消防緊急通信指令施設及びこれらに付属する設備を更新する事業。
成果	消防緊急通信指令施設及びこれらに付属する設備の更新により、迅速・確実な情報収集及び伝達など、消防通信体制の万全を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1	消防緊急通信指令施設更新						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
事業費と内訳	(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費
	事業費				67,485			67,485
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債			67,400			67,400
		その他						
		一般財源			85			85
	人員(人工)				0.01			0.01
	職員費(人員×7,704千円)				77			77
総事業費				67,562			67,562	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	消防緊急通信指令施設更新	0%	-	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	迅速・確実な情報収集及び伝達が可能となり、的確な消防活動の遂行につながる。
-------------------	---------------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 迅速・確実な情報収集及び伝達は、的確な消防活動の遂行につながることから、市民ニーズがある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市民が安全・安心に生活できる環境の整備のため、119番等緊急通報を受報する消防緊急通信指令施設の整備の万全を図る必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 平成23年度の整備より24時間365日稼働し、10年を経過する本消防緊急通信指令施設について、常に動作不具合を生じさせることのないよう整備を図る必要があるため、緊急性がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 消防緊急通信指令施設等の全更新は、製造メーカーにより互換性が確認された構成各機器を計画的に更新することから、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 常に119番等緊急通報の受報体制の万全を期する必要があることから、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 常に119番等緊急通報の受報体制の万全が図られ、また、消防活動を的確に遂行することにつながるため、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 速やかに事業推進を図り、迅速・確実な情報収集及び伝達など万全な消防通信体制に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 全国の消防本部における消防指令システム調達に関するノウハウの共有を図り、迅速・確実な情報収集及び伝達体制を確立し、万全な消防通信体制を樹立する。

作成年月 令和3年7月

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防分遣所等整備事業	事業番号	12896

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	消防分遣所及び消防団員詰所の整備を計画的に行い、施設を適切に維持管理する。また、各施設に設置しているAEDの更新を行うことで、住民が緊急時に安心して使用できるようにする。
成果	消防分遣所および消防団員詰所の改修を行うことにより、各施設の長寿命化を図る。また、AEDについては耐用年数が定められており、更新を行うことで地域住民の安心・安全につながる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
		落石消防団員詰所の改修(外壁、屋根)、AED 2台の更新(歯舞、厚床消防分遣所)						
		花咲港消防分遣所の改修(外壁、屋根、内部設備)						
		歯舞消防分遣所の改修(外壁、屋根、内部設備)、AED 5台の更新(落石消防団員詰所、消防本部貸出用、温根沼会館、東梅会館、花咲港消防分遣所)						
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			4,148	7,841	12,835	24,824	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			4,148	7,841	12,835	24,824
	人員(人工)			0.02	0.01	0.02	0.05	
職員費(人員×7,704千円)			154	77	154	385		
総事業費			4,302	7,918	12,989	25,209		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	消防分遣所及び消防団員詰所改修	0カ所	-	4カ所
	AEDの更新	0台	-	7台

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	施設改修にあたり、庁舎の長寿命化を図ることで、コスト削減につながる。 AEDは計画的に更新を行い、緊急時に正常に使用できるように適正に管理し、市民の安心・安全を確保することができる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 災害時、消防団員の拠点となる施設であり、また、AEDは緊急時に市民が使用することもあり、市民の安心・安全の確保が求められるため、市民ニーズは高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が管理責任を有しているため実施する必要性がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 施設の改修が遅くなることで、必要以上の修繕を行わなければならない可能性がある。またAEDについては耐用年数が定められているため、更新する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設の長寿命化を図る上で、改修を行うことは適切である。また、AEDの耐用年数による更新についても適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 災害時、消防団員が活動するための施設を整備すること及び緊急時のAEDが適切に使用されるため、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本事業を推進することで、施設の延命化が図られ、コストが削減される。またAEDを更新することで、緊急時の対応に有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 施設改修に関する考え方を整理のうえ、計画的な施設改修及びAEDの更新を図り、市民の安心・安全の確保に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画的な庁舎整備、AEDの更新を行い適切に維持管理し、地域住民の安心・安全の確保に努める。

作成年月

令和3年7月